

YAK

VOL. 96

2015年4月1日 認定NPO法人こどもステーション山口発行(年2回発行)

生の舞台・さまざまな遊び・たくさんのかま…そんな出会いの中で子どもたちがいきいきと活動しているようすなどを伝えします

たちじまってミル かんがえミル 第②回

ベンリだから、ラクだから、みんながそういうから…そんな今を立ちじまって、いっしょに考えてみませんか?

子どもの忙しさを考える

~習いごとにふりまわされていませんか~

子どもステーション山口の子どもたち(小学生を中心に、幼稚から高校生まで)172人に聞いてみました。

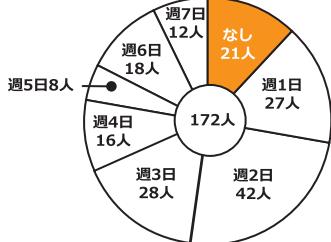
時代とともに低年令化している子どもの習いごと。子どもも親も、どうやらこの習いごとや塾やスポ少で知らないうちに“忙しい病”にかかるてしまっているようです。

習いごと(以下、お稽古ごと、塾、スポ少、部活を含めた総称とします)は、子どもにとって貴重な体験の場であることは確かです。いっぽう、さまざまなリスクもあり、親の悩む姿もうかがえます。

●3才以上の子どもの9割近くが何らかの習いごとをしている。 ●習いごとの数は一人2~3。 ●週3日以上通っている子どもが半分を超えている。中には習いごとが8種類あって予定のない日は月に2、3日という子どもや、1日に3つもかけもちしている子どもも! 中学生になると部活は1週間休みではなく、それでも部活が終わって習いごとをしている子どももけっこります。

習いごとは週に何日?

(3才以上を対象)



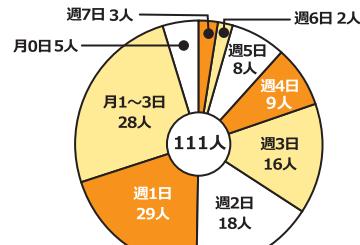
子どもが忙しくなって心配になるのは、休養はどれているか? 友だちと十分遊んでいるか? 家族と団らんの時間はあるか?

土日のスポ少の試合などで疲れて、月曜の朝は教室でグッタリ…というようすを学校の先生から聞くことがあります。親からはなかなか見えない姿です。

いっぽう、学校や園が終わって友だちと自由に遊ぶことのよさは、子どもどうしてルールを作ったり助け合ったり、子どもたち自らが育ちあうことにもあります。アンケートでは1週間に少なくとも2日は遊んでいるという子どもが全体の半数いてちょっと安心します。でもよく聞くと分単位で時間を見つけて遊んでいるとか。「遊ぶ時間がもっと欲しい」「自由にできる時間が欲しい」というアンケートの子どもの声は切実です。

ちなみにどんな遊びをしているのかと聞くと、外遊び・鬼ごっこという答えがいちばん多くてうれしくも安心! 2番は電子ゲーム。最近は公園にゲーム機を持って集まっている子どもをよく見かけますが…。

家にいるとき友だちと遊ぶのは週に何日?



習い事のきっかけは子どもの「やりたい」という一言から、多い。

親は子どものやる気や才能を伸ばしたいので、子どもがやりたいと言えばその気になります。まわりの子どもがやっていると我が子も遅れをとるのでは、という焦りもうれます。勤めを持っている親にとって、子どもが習いごとに通っていてくれると安心ということから習いごとが増えることもあるようです。



こんな時は「やめる」決断もたいせつ

習いごとのせいで、日々、時間に追い立てられていることはないでしょうか? アンケートでは忙しくてたいへん!と思っている子どもが半数近くもいることがわかりました。がんばらせすぎないか気をつけたいですね。また、子どもがいくつも習いごとをしていると、親もその送迎や世話で忙しく、家族そろつての団らんがとれない、習い事の月謝のために家計が圧迫されている、そんなことがないかも考えてみましょう。

子どもにはゆっくり、ほんやりする時間が必要!
日本が批准している国際的な条約「子どもの権利条約」31条には「子どもの休息や余暇の権利」というのがあって、子どもにはゆっくり、ほんやりする時間が必要、と言っています。まずは子どもの余暇を確保してあげましょう。子どもの成長には他人の指図のないゆっくりした時間が決定的に必要なのです。ちなみにこの31条では、子どもの遊びや文化的・芸術的な活動に参加する権利も謳っています。

「やめたい」、「やりたい」をきちんととらえる?
子どもが高学年になって「自由に遊ぶ時間がないから習いごとをやめたい」と言った話も聞きます。子どもはほんとうにやりたいことは大きくなると、自分で見つけます。親が先回りをして道をつけると逆にほんとうにやりたいことを見失うことにならないか心配です。子どもが自ら道を見つけたときに親がしっかりと応援してやれるようにしたいのです。

子どもの声をじっくり聞いて、今いちど子どもの暮らしの中の余暇を見直しませんか?

(文責・USUI)

子どもたちが練ったアイデア、
子どもたちが書いた脚本、
忙しい合間をかいくぐって
よく稽古ができたものだと感心!
子どもたちは稽古で集まることが
何より楽しかったらしい。
そして本番を迎えた。
3才から高校生まで8グループ、118人。
舞台の上ではじけた——!!

かがやけえがあのる・り・フリー る・り・フリー こどもステージ

2015.2.8(日) 県立図書館レクチャーラーム
参加者270人

ドキドキしながらセリフを言った!
ダンスをした!
ライトがまぶしかった!
客席にいっぱい人がいた!
いっぱい拍手をしてもらった。
終わって、すごいことをしたような気がした。
あしたからもう集まらないんだと思うと、
ちょっとさびしくなった・・

プログラム

「湯田白狐が見つけた黄金のサッカーボールを盗め」	怪盗湯田ルパン四世(湯田)
「本編は実際の日本史には全く関係ありません。」	月とすっぽん座(中高生)
「エンジェル魔法使いに会う」	大殿キッズエンジェルズ(大殿)
「こどもニュース2014」	The★宮野座(宮野)
「さるかに合戦」	大内のお殿さま(大内)
「大きな…?」	白石にっこりキッズ(白石)
「ぶた降る雪の日」	グッド★キャッスル(吉敷)
「宇宙音楽伝説」	ひらっぴーず(平川)

参加者の人気投票で
選ばれる、る・り・フリー大賞、
今年はThe★宮野座の
「こどもニュース2014」に!



こどもステージ る・り・フリーとは?

毎年この時季、子どもたちが地域ごとにグループをつくり、話し合って創作したものを発表しています。12月半ばころから準備を始め、当日は舞台劇・パフォーマンス・ダンス・音楽演奏などを演じています。
幅広い年齢層の子どもたちが日々ちをかけて作りながら、なかよくなっていく、ほかには代えがたい活動です。

《いのち・人権・平和》と憲法が近づいた日!

8月の Love&Peace2014

子どものための
憲法
のはなし

私たち日本人が70年近く平和に暮らしてきたのは「憲法」があったからと言われています。では「憲法」とはなんでしょうか?

あたりまえすぎて気づかなかつた平和。その平和に少し陰りを感じはじめた昨夏、この国の将来がどんな方向へ向かうのか、もっと感心を持たなければいけないと思いました。それには子どもも無関係ではありません。テレビ画面に映し出される不穏な世界情勢に子どもながら不安を抱えているはずですから。
そこで、「憲法」は世の中のことはじめ、一個人の権利まで実はとても身近なものであることを子どもたちにも知ってもらいたい、との講座を開きました。



2014年8月29日(金)19時～
山口市男女共同参画センター
講師：内山新吾弁護士

「へいわってすてきだね」という絵本の読み聞かせから始まった講座には、子ども(小3から

高校生)と大人、あわせて約80人が集まりました。

「国民は憲法を守る義務があるか?」や、「いじめは憲法違反か?」などなど、いくつものクイズが出され、参加者はそれぞれが「○・×」のカードを挙げて回答していました。

ちょっと難しい質問でも子どもたちは頭をひねって考える、そんな工夫が凝らされた進行でした。

- ・子どもには選挙権がないけれど、子どもも「国民」、主権者であること。
- ・戦争は知らないうちに始まる。
- ・戦争がひき起こすおおぜいの死者。「数」でくくらず、そのひとりひとりの命と生活を想像してみよう。
- ・地震や津波と違い、戦争は人間がくいとめができる。
- ・その人にしか言えない自分のことば、それがほかの人の心を動かす、などなど。

この日学んだ上のようなことがらを子どもたちは新鮮な気持ちで受け止めたようでした。
「憲法は国民の権利を守るもの、国家権力をしめるもの。」という私たち国民にとって心強い憲法。でも国民が守らせる努力をしなければ無益なものになる、という講師のことばは、大人にはとても身に沁みました。

子どもたちが総理大臣に望むことは?

「原発をやめて」「基地をつくらないで」「戦争をしないで」など今の政治に直球の、たくさんのが上がりました。また、「夏休みに宿題を出さないで」「消費税なしでうまい棒を10円で買いたい」と。これも子どもにとっては切実な問題です!

《参加者の声》

このごろはテレビなどで「憲法・戦争」などのことをよく聞きましたが、意味が全然分からなかったけど、今日の話を聞いて、とてもよかったです。それに、自分たちもきちんと考えていかないといけないことなんだと思いました。12才女子・会員

わたくしたちの

カタリバ

8月の講座を受けて、子どもたちがもっと「憲法」と「自分たちの暮らし」をつなげて考え、発言できる場があればいいねと統編を企画。その名も「わたしたちのカタリバ」が年明け早々の1月9日(金)、山口市男女共同参画センターで開かれ、小学4年生から高校1年生まで25人が集まりました。

集まった子どもたちにとって、このような場は初めてで、初対面の顔もいっぱいという中で、やや緊張気味でした。それでも子どもたちは、「宿題を減らしてほしい」や「先生が怒ったとき、呼び捨てにするのがいやだ」などおもに学校でのできごとに対しての意見が遠慮がちに出ました。ファシリテーターの内山弁護士は「それはどうして?」「宿題をなくしたらどうなると思う?」などと、みんなに聞きながら進められました。

学校や学年を超えたこのような集まりを今後も続けていけたらと考えています。



観つづけることがイマジネーションをそだてる 子どもたちと出会った舞台(鑑賞例会)・・

恐竜パラパの深い愛情にホロリ・・・
人形劇団むすび座 おまえうまそうだな 《幼児対象》

9月 23日(火・祝) 山口市民会館小ホール



宮西達也さん的人気絵本が原作とあって、予想をはるかに上回る300人が入場。大きくて恐ろしいティラノサウルスは迫力抜群! 笑ったり、こわがったり、ジーンとしたり・・・。

- さいご、はなれるところが、かんどうしました。(7才)
- たった3人で創りあげる世界の広さに感服です。前回のビノキオからむすび座さんの大ファンです。これからも素敵な人形劇を楽しみにしています。(30才代女性)

11年ぶりの山口再演! 感動はさらに深く・・
東京芸術座 夏の庭 《小学生以上》

10月 14日(火) 山口県教育会館ホール



老人の「死」に照準をあわせながらも、「生きることをさわやかに謳いあげた舞台。女優が

演じる3人の少年たちの感性にすなおに心を寄せることができました。終演後、俳優を囲んで行われたアフタートークでは20名以上の参加者が熱心に話に聞き入りました。

- おじいさんが語ったせんぞうの話は、とてもこわかつたけれど、命の大切さがわかりました。わたしは、人をしんじる、そんけいする、ゆるすということをしました。(9才女子)

小さな子どもたちをすっかり釘づけに!
シモシュとあそぼ! 音であそぼ! 《幼児対象》

12月 6日(土) 山口市民会館小ホール



シモシュといっしょに、歌ったり、踊ったり、へびになったり、魚になったり・・・と子どもたちノリノリのコンサートでした。合間にはジャズピアノの演奏もあり、ピアニストとしてのシモシュの実力に大人はうっとり!

- 1歳の娘がすごくノリノリでおどろきました!! 発見でした。鍵盤ハーモニカがすばらしいと思いました。「子どもが吹くもの」だけではないのだなあと!(女性38才)

大向うから「しらさぎや!」のかけ声!
前進座 花木村月夜奇妙 《小学生対象》

12月 16日(火) 山口県教育会館ホール



新美南吉のほのぼのと温かい世界が、歌と踊りを交えた見ごたえのある舞台に! 歌舞伎風の見得や所作も美しく、子どもたちにも新鮮な出会いになりました。公演の事前に前進座から役者さんなどを招いて行った「わくわくワークショップ」や「ふむふむトーク」。そこでもりあがった期待に見事に応えた舞台でした。

人形劇ならではの表現、高学年も納得!

人形劇団むすび座 The Wish List 《高学年コース》

12月 23日(火・祝) 山口市民会館小ホール

14才の不良少女メグと老人ラウリーの出会いから始まる奇想天外な物語。登場する人形や音楽の歌詞も奇抜でドキドキさせました。観客は思春期世代ならずとも、せつなくあたたかい物語に前のめりのようすでした。

- 「生命をつかいきる」という言葉。後悔しない生き方。とても深いお話をしました。(41才女性)

難解? いえいえ、客席からは終始笑い声が!

劇団うりんこ 妥協点P 《高学年コース》

2月 25日(水)・26日(木)

山口情報芸術センター・スタジオA



機関銃のようにはげしく発せられるセリフ! 脚本と俳優、最高のタッグマッチはおかしくもあり、なんだかせつなもあり。舞台はふしぎ要素いっぱいで観たあと誰かと話したい気持ちに!

- 短時間ながらとても濃い内容だったと思う。安直じゃない妥協点をさぐる作業の大切さに気付かされた。簡単に答えにたどりついで樂になりたい心情にさからうのはしないですが、大事ですね。(40才女性)

- あたりまえだけど、どろぼうになつてもないたりかなしくなることがあるから、やくにたてることをしなくちゃいけない。(8才)

子どもたちが舞台を観ているとき、心と頭はいっぱい活動しています。
観たあと、しゃべれる相手がいるとすごくうれしいな・。

■ 2015年度の鑑賞例会が決まりました!

5月

小学生以上対象

5月 9日(土) 19:00開演
山口市民会館 大ホール
■一般券 4才以上有料
※3才以下 入場不可
《劇団かかし座》

「Hand Shadows ANIMARE」
アニマーレ



幼児対象

5月 24日(日) 15:00開演
山口市民会館小ホール
■一般券 2才以上 親子ペア3000円
子ども1500円 大人2000円
《人形劇団ブーク》
「おれはママじゃない!」 原作/みやもとただお
同時上演:「ブー吉・チビのミニミニ劇場」



6~8月

特別公演

6月 28日(日)
松元ヒロ・ソロライブ
2015

低学年コース

7月 2日(木)~
山口市内8会場で開催
あっちこっちdeアート2015
パントマイムにいさん
からのおくりもの
《カンジヤマ・マイム》

高学年コース

8月 25日(火)
立体講談 はだしのゲン
~神田香織独演会~
《オフィス・パパン》

9~10月

小学生以上対象

9月 23日(水・祝)
ぼくはにんじやの
あやし丸
《劇団うりんこ》

幼児対象

10月 10日(土)
カメジロー
おつかいにいく
《劇団そらのゆめ》

高学年コース

10月 12日(月・祝)
映画
夢は牛のお医者さん
監督:時田美昭

詳しくは2015年ごあんないリーフレットに掲載しています

12月

小学生以上対象

12月 6日(日)
アンディ先生の
ストリートマジック
+イリュージョン
《マジックファクトリー》



3月

幼児対象

3月 5日(土)
みにくいあひるのこ
+おかしなおかしな
バッベットショー
《くわえべっぷとステージ》

小学生以上対象

3月 3日(木)
口はロボットの口
《オヘラこんにやく座》





月とすっぽん座
中高生グループ

リベンジ=野外炊飯、実地研修OK!
2014.12/14(日)寒風吹きすさぶ秋吉台家族旅行村



中高生グループにとって、彼らの寄つて立つところは、野外炊飯をともなったキャンプ。その思いはもう過去をさかのぼれないほど、かつての中高生から脈々と続いている。それなのに! それなのにここ2年のキャンプはいずれも台風にた

たられ、現地での実施を見送りました。キャンプ地での火起こし、飯盒炊飯などは中高生が現地で覚えたことを順送りに次の世代へと伝えているのに、これでは中高生自身の経験が消滅しそう! と、リベンジ=野外炊飯が企画されました。

小学6年から高校1年まで11人の子どもたちは、それぞれチームに分かれ実習となりました。火炊きチームは鉈での薪割り、薪の組み方、火の起こしかた。調理チームは包丁を使って食材の切り方、炊飯チームは、米のとぎ方、飯盒の水加減、火加減の仕方。それらを青年やおとなに教わって、昼にはめでたくチキンとビーフ2種類のカレーにありつきました。これで来年のキャンプはまかせて! と彼らは胸を叩いています。

リベンジといえば、やはりキャンプでできなかつた肝だめしの企画を夏休みの終わりに(8/22)実施。



参加者が恐がるより、お化け役で待機する自分たちの方が恐かったと終わってこぼしていましたが、14人の小学生はたっぷり楽しんだようです。

*リーダー研修会からの一連の事業は(公財)マツダ財団からの助成を受けて行いました。

いつのまにか頼られる存在に!
る・リ・フリー=サポートから出演まで



2月8日(日)の「る・リ・フリー」にむけた子ども作戦会議では緊張の面持ちで参加した小学生の気持ちをほぐしたり、当日は進行やりクリエーションを担当したりと大活躍。発表当日もオリジナリティの高いメリハリのきいた作品を披露してくれました。

R・E・P・O・R・T!

★今年度もC・S赤れんがの指定管理者に!

2015年度から5年間、こどもステーション山口としては第3期目の指定管理になります。

★山口県功労者賞表彰を受けました!

2014年11月、山口県教育委員会より40年の活動に対して功績が認められ、表彰されました。

★「第3回エクセレントNPO大賞」にノミネート!

2014年12月、日本プレスセンターでの表彰式において、組織賞の部門で活動が高く評価されました。

支援されています♥

支え人。プロジェクト

防府の洋菓子店「メルシー」と市内宮野のおもちゃ専門店「リンドベルム」で商品を購入すると、購入額に応じてお店からこどもステーション山口の「山口の未来の子どもたちを守る活動」に対して寄付されます。

黄色いレシートキャンペーン

毎月11日にマックスバリュ(吉敷店)でお買い物をするときレシートの合計金額の1%が品物としてこどもステーション山口に寄付されます。

支援しています♡

◆東日本大震災で被災した東北地方の子ども劇場・おやこ劇場を支援しています。

◆被災により山口に避難している子どもたちに舞台鑑賞例会へご招待します。

集まることはたのしいね・・・次はあなたも!



●2014.11.11 やきいも会
幼児クラブ モコナ



●2014.11.11 やきいも会
幼児クラブ モコナ

●2014.12.21
もちつき大会 吉敷ブロック
(地域交流センターとの共催)

舞台鑑賞のほかの8月までのおもな予定

4/29(水・祝) こどもまつり 2015

5/23(土) 定期総会

6/21(日) 子育て講演会

8月上旬 こどもキャンプ

毎月1回開催 幼児クラブ モコナ

毎月第2火曜日の10時30分から、おもに吉敷地域交流センターを会場にして、未就園児の子どもたちの遊びの会を行っています。



赤れんがだより

クリエイティブ・スペース赤れんがはこどもステーション山口が指定管理者となっています。常時、山口市民の文化芸術の活動発表の場などに利用されています。今年度後半には、赤れんが主催の「チェンバロコンサート」や展示などの事業を展開する予定です。

BOOK...



『プロンス新社刊』

昨夏の「子どものための憲法のはなし」の冒頭で、内山弁護士が読み聞かせをされた絵本「へいわってすてきだね」。これは、昨年の沖縄戦全戦没者追悼式で小学2年の安里有生君が読み上げた詩に、絵本作家の長谷川義史さんが絵をつけたものです。

平和を守りたいという、有生君の強い生きものがよく表れたこの絵本は、第7回 MOE 絵本屋さん大賞の1位にも選ばれました。子どもたちといっしょに読みたい1冊です。



編集後記/

◇子どもたちがあまりにも忙しそうなので1ページに特集をくみました。多かれ少なかれ保護者はみんな悩んでいるようす。子育て経験者の話も聞きながら知恵を出し合いたいものです。

◇世界情勢が過激に変化しています。子どもの成長をサポートしようと思う私たちだからこそ、もっと政治や社会に関心を持って、みんなで平和を守っていきたいと思います。

こどもステーション山口はこんな団体です

子どもたちが文化芸術に親しんで、心ゆたかな子ども時代が過ごせるように活動しています。プロの舞台芸術に出会う鑑賞例会のほかに、キャンプやこどもまつりなど、たくさんのなかまといっしょに活動できる場をサポート。大人にも、「子どもと共に育ちあう」学習の機会をつけています。また各地区(学校区)ブロックでは、会員が地域のつながりを大切にしながら、独自の楽しい活動を行っています。

ご入会ください…鑑賞例会料金が無料になります

正会員

月会費2500円(子どもの登録ができます)

子どもの登録料(400円/年)

準会員

月会費1300円(大人だけで参加される方)

ご支援ください

賛助会員 個人会費:一口 5000円/年

団体会費:一口10,000円/年

※寄付も随時、募っています。

※年間3,000円以上ご寄付いただいた方は確定申告により、税額控除が受けられます。

ご支援いただいた方々 2014年度

《団体》贊助会員

■塗装秋貞 ■リンドベルム ■赤川医院

■加藤舞踊学院 ■(株)大隅タクシー

■ビジネスホテル富士の家 ■永田こどもクリニック

■山口ケーブルビジョン(株)

《個人》贊助会員

菊本達子 宮田佳子 伊藤美代子 勇木礼子

石津久美子 松崎ウメ子 大来静枝 中林和子

武宮多恵子 片倉潤子 大山朝子 山崎睦子

佐藤キヌヨ松富昭子 保手浜 孝 赤羽とも子

福田和子 山岸秀雄 原田洋子 加藤美知代

小島和子 高木博美 重田典子 内田美子

藤原美智子 蔵重喜美子 奥島一洋 山本尚代

柴崎泰子 金重節子 (順不同・敬称略)

《個人・団体》寄付

95口 1,119,838円

《こどもステーション山口 =2月の会員数》

正会員 217人 準会員 77人

子ども登録数 474人 計 768人